

## 令和6年度 神奈川県教科書用図書選定審議会（第2回）

### 〈審議概要〉

#### 【司会（酒井指導主事）】

皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。

それでは、定刻になりましたので、只今より、令和6年度第2回神奈川県教科用図書選定審議会を開会いたします。

まず始めに、神奈川県教育委員会教育局支援部長 古島より 御挨拶申し上げます。映像にて御挨拶させていただきます。少々お待ちください。

#### 【古島支援部長】

皆さん、おはようございます。支援部長の古島でございます。

委員の皆様方におかれましては、御多用の折、4月の第1回に引き続き、第2回目となります本日の教科用図書選定審議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、前回、御審議いただきました諮問事項の(1)から(6)につきましては、4月の教育委員会に付議して承認され、市町村教育委員会並びに国立、私立学校等、採択権者に送付させていただいたところです。

また、現在、県内の各市町村教育委員会等で、教科書の採択事務が進められています。

本日は、4月の第1回選定審議会でも諮問させていただきました、諮問事項(7)「令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書選定に係る調査研究資料について」、本日、種目ごとに専門調査員からの提案について御審議いただきます。

御机上にあります調査研究資料は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第10条に基づき、県教育委員会が市町村教育委員会及び義務教育諸学校の校長の行う採択についての指導、助言の1つであり、教科書採択の際の「基礎的な資料」としていただくものでございます。

今、皆様の御机上にございますのが、令和7年度から中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程で使用する教科書見本でございます。このすべての教科書について、県内各地域から選出された専門調査員によって調査研究を終えたところです。

本日、御審議いただき、決定しました「答申」については、今後、6月11日に行われる県の教育委員会6月定例会に付議し、議決をいただき、市町村教育委員会等へ資料の送付をする予定となっております。

本日、委員の皆様に見ていただきます「教科用図書 調査研究の結果」が、市町村教育委員会等における採択事務の重要な資料になります。皆様の慎重、かつ活発な御審議をお願いいたします。御挨拶といたします。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

【司会（酒井指導主事）】

次に、審議会会長から御挨拶をいただきます。佐後会長、よろしくお願いします。

【佐後会長】

皆様、改めましておはようございます。本日は第2回目の審議会ということでございますが、今、古島部長からも説明がありました通り、まずは県教育委員会から8項目の諮問を受けまして、そのうち6項目に関しまして、皆様の慎重かつ活発な御議論をいただいたところでございます。

お陰をもちまして、今、お話にありましたように、県教育委員会の方で議論された上で、既に各市町村教育委員会に発出されたということでございます。

本日ににつきましては、7番目の質問項目でございます、「令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期教育課程教科用図書の選定に係る調査研究資料について」の審議をお願いするところでございますが、皆様のお手元にあります通り、大変ボリュームのある資料でございますが、本日の審議の結果、この答申が、県内の子どもたちの、これから使用する教科書の採択に係る重要な資料となるということでございますので、本日におきましても、皆様の御協力を得ながら、充実した審議を行ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日、この資料を整えるに当たりまして、事務局、また専門調査員の皆さん、大変御苦労いただいたところでございます。この場をお借りして感謝申し上げます。

それでは、本日は長時間の審議になりますが、どうぞ皆様、よろしくお願いいたしますということを申し上げまして、挨拶としたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【司会（酒井指導主事）】

ありがとうございました。

ここで資料の確認をさせていただきます。委員の皆様には、お手元にお配りしてございます資料を、御確認くださるようお願いいたします。

本日お配りしているのは、まず、本日の会議の「次第」と「委員名簿」、そして「第1回教科用図書選定審議会以降の経過報告」、最後に「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程 教科用図書調査研究の結果(令和7・8・9・10年度使用)」(案)です。

資料に不備がございましたら、事務局にお伝えください。

それでは、まず議事に入る前に、「第1回教科用図書選定審議会以降の経過報告」を事務局から御説明いたします。

【事務局（山田指導主事）】

事務局の山田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、お配りしております、神奈川県教科用図書選定審議会（第1回）以降の経過報告と書いてある資料を御覧ください。こちらをもとに御説明をさせていただきます。

先ほど、支援部長の古島からもお話がありましたように、前回4月9日（火）に御審議いただ

きました諮問事項(1)から(6)につきまして、4月11日(木)付けで答申をいただきました。

4月16日(火)の教育委員会4月定例会において採択方針が決定され、県内市町村教育委員会をはじめ、関係各機関へ発出をいたしました。

次に、今回の調査研究結果の資料の作成にあたり、5月2日(木)に第1回の専門調査員会を開催いたしました。

各地区から推薦を受けた専門調査員が集まり、第1回選定審議会で御審議いただきました「令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点」と照らし合わせながら、今、皆様のお近くにございます教科書の見本を読み込み、これまでの間に、計4回の専門調査員会で調査研究と協議を重ね、こちらの資料にまとめてございます。

なお、調査研究の対象につきましては、検定を合格した教科書の一覧である「教科書目録」にあるすべての教科書です。この間報道にもございましたが、令和5年度の教科書検定に合格したものに、一部、令和元年度の教科書検定で合格したものが含まれております。

本日の第2回選定審議会では、7番目の諮問事項、「令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究資料について」御審議のうえ、答申をいただきます。この後、いただいた答申を踏まえまして、6月の教育委員会定例会へ付議をいたします。経過報告は以上です。

【司会（酒井指導主事）】

只今の「経過報告」について、御質問等はございますか。

それでは、これより議事に入りますが、進行については佐後会長にお願いいたします。

佐後会長、よろしくお願いいたします。

【佐後会長】

それでは、私が議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

第1回の教科用図書選定審議会以降の経過につきましては、今、事務局から報告がありましたが、委員の皆様には了解をいただいたということでよろしいでしょうか。

では、諮問事項の(7)「令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書の選定に係る調査研究資料について」、進めてまいります。

はじめに、資料の構成等について、事務局より説明してください。

【事務局（山田指導主事）】

では、引き続きよろしくお願いいたします。

お配りをしております、中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果(令和7・8・9・10年度使用)」(案)を御覧ください。

表紙の裏が目次になっております。上段の枠囲みには、この調査研究の結果が法令に基づいて作成されたものであることや、「資料Ⅰ」「資料Ⅱ」がそれぞれどのようなものであるかを示しています。

また、中段以降には、各発行者の略称及び正式名称を載せております。

次の「観点－１」から「観点－５」、具体的には左下あるいは右下にページ番号を振っておりますが、ページ番号の２ページ「観点－１」から「観点－５」ページまでが本調査研究の観点をお示ししたものです。

それでは、国語を例に、各教科・種目の「資料のつくり」について御説明いたします。ページをお進みいただき、「国語－１」と書かれたページをお開きください。右下に７ページの番号が振ってあるページになります。

左上に【資料Ⅰ】と記載があります。この【資料Ⅰ】は、発行者別に、法令等との関連や内容、構成、装丁等の特色を、文章表記でそれぞれ１ページにまとめています。

上から一段目は「発行者の略称」と「書名」です。

二段目以降、教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連、かながわ教育ビジョンとの関連、内容と構成、分量・装丁・表記等の４項目で整理しております。

観点⑮について、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫」として、各教科・種目において原則１人１台端末を活用して学習ができるよう二次元コードが掲載されていること、また、そのリンク先について記載しております。本日、皆様の御机上にタブレット端末を御用意しておりますので、必要に応じて御活用いただけたらと思います。

なお、外国語（英語）につきましては、観点⑮と⑳、生徒が使いやすいような工夫についてになりますが、学習者用デジタル教科書についても記載しております。

続いて、「国語－５」と書かれたページをお開きください。右下 11 ページとなります。ここからが「資料Ⅱ」です。この「資料Ⅱ」は、先ほど御覧いただいた「資料Ⅰ」をまとめるにあたってのベース、あるいは根拠となるデータを観点ごとに示したものです。

また、この「資料Ⅱ」の後半、国語で言いますと「国語-11」、右下 17 ページになります。「参考」として、「題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載」、「教科書 1 冊ごとの重量」について調査したものを示しています。この「資料Ⅰ」「資料Ⅱ」の２つの資料から、各教科・種目で構成されております。

続いて、本資料にて用いている、括弧の表記について御説明をいたします。恐れ入りますが、右下 1 ページまでお戻りください。昨年度の選定審議会におきましても、この括弧の使い方について、教科書の表記において、分かりやすく示した方がよいのではないかという御意見をいただいたところです。

これにつきまして、まず、学習指導要領や、かながわ教育ビジョンの記載等については「 」を用いています。教科書内に設定されている学習活動の記述については【 】、教科書内に記載されているコーナー名等の記述については『 』、教科書内に掲載されている書名等の記述については“ ”を用いています。

続きまして、本日、御審議いただくポイントについて御説明いたします。

冒頭、支援部長の古島からの話にもございましたように、お配りしております「教科用図書調査研究の結果」の資料が、今後、市町村教育委員会等が行う教科書採択の基礎的な資料として、とても重要なものとなってまいります。

この資料が各市町村教育委員会等の採択の基礎資料となるにあたり、正確性や妥当性、公平性が担保されたものになっているかという点について検証いただくことが、ポイントとして挙げられます。

それぞれの発行者から出されている教科書の優劣等を検討する場ではないことに御留意ください。

また、公平な立場で書かれているか、調査員の主観的な感想や意見、評価が盛り込まれてしまっている記述はないか、各教科書の特色が読んで伝わる資料になっているかという点をふまえて「調査研究の結果」をお読みいただくとともに、各教科・種目の調査員の代表からの報告をお聞きいただきたいと思います。

その上で、御不明な点は質疑としてお聞きいただき、十分に御審議くださるようお願いいたします。

なお、皆様の御机上に、今回の調査研究の対象となった令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書の見本本を置いてありますので、随時御覧いただければと思います。

この後、国語の説明をさせていただきますので、今、皆様の御机上には国語の教科書の見本を置かせていただいております。この後、種目の説明の前に、順次教科書の入れ替えをさせていただきますので、御承知おきください。私からは以上になります。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。何か疑問点はございますか。

それでは、はじめに、国語の調査結果について報告をお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは、10時から国語の説明をさせていただきます。

まだお時間がありますので、よろしければ、今、御机上にあります国語の教科書の見本を実際に手に取って御覧をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

【佐後会長】

それでは、10時までということですので、お手元にございますので、どうぞ御覧ください。

【事務局（山田指導主事）】

なお教科書につきましては、中に、二次元コード等が掲載されております。二次元コードのリンク先が読めるように、今回、タブレット端末を用意してございます。パスコードについては、ホワイトボードに書いてありますので、適宜、内容について御確認いただければと思います。

【佐後会長】

はい、それでは準備も整いましたので、進めてまいりたいと思います。

それでは、はじめに、国語の調査結果について報告をお願いします。報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（国語専門調査員会代表者）】

では、国語の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。それでは、先ほど審議のポイントとして、正確性や妥当性、公平性が担保されたものになっているかどうか等を検証していただく、また、この報告書が公平な立場で書かれているか、調査員の主観的な感想や意見、評価が盛り込まれてしまっている記述はないか、そして、各教科書の特色が読んで伝わる資料になっているかということで示されておりますので、その視点から御意見、あるいは御質問を伺おうと思いますけれども、調査報告書に目を通していただくとともに、教科書の方も照らし合わせて御覧いただければいいかなと思います。この後、御質問、御意見を伺いますのでよろしくお願いします。

それでは伺ってまいりたいと思います。まずは御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは御意見も含めて、何かございましたら御発言をよろしくお願いいたします。

お願いいたします。

【田村委員】

各発行者の特徴がわかりやすい御説明をありがとうございました。

17 ページの国語－11 の参考のところで、題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載で、これは作品が神奈川県に関連するものと、作者が神奈川県に関連しているものがあると思うのですが、例えば、東京書籍のところでは、第1学年 264 ページに『筆者 古田ゆかり』の出身地（神奈川県）と書いてあったり、光村図書では、第1学年 27 ページ『作者 蜂飼耳』の出身地（神奈川県）と書いてあって、三省堂のところでは、例えば第3学年の 88 ページのところで、作品名が書いてある後に、作者（神奈川県）と書いてあったりするのですが、この三省堂のところの第3学年 88 ページと 100 ページのどちらも作品ではなく作者が神奈川県出身ということであれば、東京書籍や光村図書のように統一した方がよいと思ったのですが、こちらについて教えていただきたいと思います。

【佐後会長】

それでは、回答をお願いいたします。

【報告者（国語専門調査員会代表者）】

御指摘ありがとうございます。表記の方が複数の書き方がありましたので、統一したいと思います。ありがとうございました。

【佐後会長】

今の御指摘については、複数そういう箇所がございましたので、確認の上、統一をお願いいたします。

他にございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは事務局お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは1点お諮りをいたします。

国語－11 ページ、右下で17 ページの題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載について、神奈川県出身の作者についての表記の統一について、こちらの方で修正をさせていただいてもよろしいでしょうか。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

よろしいということでございます。

【事務局（山田指導主事）】

ありがとうございます。私の方から以上です。

【佐後会長】

それでは今の事務局の確認、皆様の方でよろしいということを確認させていただきました。それでは国語につきましては報告を終わりにします。

どうもありがとうございました。

続いて、数学の調査結果について進めていってください。

【事務局（山田指導主事）】

20 分から数学の説明を始めさせていただきます。この時間で、今準備をしております教科書の見本を御覧いただくとともに、休憩の時間も併せて取っていただいて構いませんので、よろしくをお願いいたします。

【佐後会長】

それでは、数学の調査結果について報告をお願いします。報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（数学専門調査員会代表者）】

では、数学の調査研究の結果について御報告いたします。(略)以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それではまた、皆様から御意見、御質問を伺いたいと思いますが、まず資料の方、目を通していただいて、教科書の方も御覧いただきたいと思います。

それでは、御質問、御意見を伺いたいと思いますが、まずは御質問のある方いらっしゃいますでしょうか。

それでは、御質問と併せて御意見も伺いたいと思いますので、御質問、御意見ございましたらお願いいたします。

萩原委員、お願いします。

【萩原委員】

教科書の採択に関わったことがないのでちょっと無知な質問でお恥ずかしいのですが、そういうお尋ねでもいいですか。

教科書によって、例えば、数研出版ですと、單元ごとに単元の前に小学校で学んだことが二次元コードで、足し算のところを見たら、足し算のところからもう1回やるような感じで毎單元書いてあって、あと補充問題のところも同じようにある教科書もあれば、全くそういった二次元コードがついていない教科書もあり、かなりお金のかけ方として教科書によって随分差があると思いますけれども、お金がかかっているその差が違うのは、教科書を採択したとき、どうなのでしょう。かなり費用が違うなと思ったのですが。本当に無知ですみません。

【佐後会長】

それでは回答をお願いします。事務局でいきますか。

【事務局（山田指導主事）】

御質問ありがとうございます。今回、二次元コードが各教科書かなり多くなっております。昨年度の小学校の教科書からかなり多くなっている状況でございます。

1人1台端末を活用してということが前提にあって、このようなことになっていると承知をしておりますが、文部科学省からは、あくまで紙の教科書を調査研究して採択することが原則であるとなっております。従って、二次元コードからのリンク先については、あくまで教材であって、直接の教科書の内容ではないということで、まずは紙の教科書をしっかり調査研究することについて言われておりますので、まずはそちらの方を見ていただいて、ただ県としては、二次元コードがある以上、こちらとしても観点を1つ設けて、調査研究をしているというところについては確認をしているということでございます。

【萩原委員】

今日の審議については紙のことだというのは分かりましたが、審議とは別にお尋ねとして、こういう作りについて、お金かけているものと全然違うものを採用しても金額は同じなのですか。

【佐後会長】

事務局お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

値段は必ずしも一律ではないと、そういうふうに承知しております。

【萩原委員】

それぞれがこれと言ったら、それで買ってくれるということなのですね。

【事務局（山田指導主事）】

今のところ、紙の教科書を採択するにあたって、検定に合格をした教科書について調査研究をするという大前提に立って調査研究をしておりますので、費用等に関しては、直接、調査研究の対象ではないということになっています。

【萩原委員】

では、そういう費用を比較するときはあるのですか。かなり値段が違うように思いますが、値段は一般に出ているものですか。

【事務局（山田指導主事）】

確認させていただいてよろしいですか。

【萩原委員】

はい。結構数が大きいので、いろんな予算が変わってくるだろうなと思うと、決して見過ごせないポイントであるのに、出てないのは不思議だなと思いました。以上です。

【佐後会長】

よろしいですかね。ありがとうございました。

他にございますでしょうか。

丹羽委員、お願いいたします。

【丹羽委員】

本当にお疲れ様でした。

私は⑤番の「たくましく生きる力」、神奈川県教育ビジョンにも関わるところですけども、ここで、コミュニケーション能力に絞っていらっしゃる。各者を見せていただくと、様々、コミュニケーション能力をそのまま求めているところもあるけれども、そうでない者もあるように見受けられて、少し説明が必要なのかなとは思っています。その辺のところの見解を教えてくださいとありがたいなと思います。

【佐後会長】

回答をお願いいたします。

【報告者（数学専門調査員会代表者）】

コミュニケーション能力の各者の表現の仕方については、やはり大分違います。ただ、求めているものとしては、各発行者とも求めているかと。直接はつきりと伝え合おうとか、聞いてみようとか、発表しようというような表現を使っている発行者もありますし、そうではなくて、あなたの考えはどうですかというような表現にとどめているものもあります。

授業の中で、教師が教科書を使いながら、あなたの考えはどうですかというものとかを発表させるような活動などを想定して、そのような表現にとどめていることと思いますので、表現の仕

方は各者とも相違がありますが、求めている部分に関しましては学習指導要領に基づいて作られておりますので、同じようなねらいを持って、数学のねらいを持って作られているというふうにお見受けいたしました。

【丹羽委員】

ありがとうございました。では、どちらの発行者が採択されたとしても、学校現場の指導者に今教えていただいたようなことがしっかり伝わっていくということを意見として述べさせていたきたいと思います。

【佐後会長】

ありがとうございました。

他にございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

それでは事務局お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

今のコミュニケーション能力というところに関しては、修正の御意見ということになりますでしょうか。

【丹羽委員】

修正というよりは、しっかり採択された後の話も踏まえて、していただけるといいなと思っていますので、今回のこの文言の修正とか、観点のことについては納得しましたので、修正ではないです。

【事務局（山田指導主事）】

承知しました。ありがとうございます。

それでは、調査員の説明で御了解いただけたと判断し、修正は特にないということでよろしいでしょうか。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

それでは数学につきましては、報告を終わりにします。どうもありがとうございました。

続いて、保健体育でございます。

【事務局（山田指導主事）】

45 分から始めさせていただければと思います。教科書を入れ替えますので少々お待ちください。

【佐後会長】

それでは、保健体育の調査結果について報告をお願いしたいと思います。報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いいたします。

【報告者（保健体育専門調査員会代表者）】

では、保健体育の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それではまた、御質問、御意見を伺おうと思いますので、資料の方を御覧ください。

それではまず、御質問を受けたいと思いますが、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

お願いいたします。

【藤井委員】

カリキュラム・マネジメントのところにつきましてお伺いします。カリキュラム・マネジメントのところの説明⑧ですけれども、東書は他教科(理科、社会、道徳)、そしてその次が(理科、社会、技術)、そしてその次が(理科、社会、家庭)となっておりまして、最後が(理科、社会)と2つの教科のみの記載となっているかと存じます。これは3教科の記載と2教科の記載であるということで、お間違えないでしょうか。

【佐後会長】

回答をお願いします。

【報告者（保健体育専門調査員会代表者）】

その通りでございます。

【佐後会長】

補足をお願いします。

【事務局（小林指導主事）】

実は、学研の方については2教科でございました。他の3者については、もう少し他の教科もあったのですが、見せ方として、かなり差が出てしまうというところもあったので、主に書かれているものを抜き取らせていただいたのが、この前の3者になるようなイメージということで、補足させていただきます。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

【藤井委員】

はい、ありがとうございました。

【佐後会長】

それでは御質問、御意見含めて伺いたいと思いますので、何かございましたらよろしく願いします。

お願いいたします。

【森川委員】

御説明ありがとうございました。

的外れだったら申し訳ないですが、私、保護司もしております。若年層の子ばかりを受け持つ

ておりますが、現在、覚せい剤の薬物への使用のハードルが非常に低くなっておりまして、飲酒、喫煙から薬物が本当に並行で、この子がというような子がもうあつという間に覚せい剤なのです。これはお願いでもあるのですが、その危険性を学校でももっと教えていただきたいと常々思っております。観点の中に、薬物、教科書の方はパラっとしか見ていないのですが、発行者によっては、4ページも5ページも割いているところもあるので、観点のところに入れてもいいのではないかと、少し入れていただけたらありがたいなと思いました。

【佐後会長】

観点に関してですから、事務局の方で何かありますか。

【事務局（山田指導主事）】

こちらについては、このようなことが記載できるかということを検討させていただくということとでよろしいでしょうか。

【森川委員】

はい、お願いいたします。

【佐後会長】

よろしくお願いします。

他にございますでしょうか。

【佐藤委員】

学研の方が、各単元があった後に、最後に【探究しようよ！】という学習があつて、多分、発展的に学習したりとか、生徒がまたさらに自分たちで資料を見つけたりして、深めていく単元かなというふうに思うのですが、この資料の方の【探究しようよ！】だと、「求める」という字になっていますけど、教科書だと研究の「究」になっているので、そちらに表記を変えた方がいいかなと思いました。以上です。

【佐後会長】

回答をお願いいたします。

【報告者（保健体育専門調査員会代表者）】

訂正いたします。申し訳ございません。

【佐後会長】

修正するということで、お願いします。

丹羽委員、お願いします。

【丹羽委員】

度々すみません。観点⑰の筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているかというところですが、特に資料Ⅱの方で、4つの発行者が比較されている観点というか、視点ですけれども、東京書籍と大修館が非常に具体的な部分が書かれていて、例えば東京書籍では、「調和のとれた生活」に設定されている、大修館が「環境の変化への体の適応」というふうにな

っているのに比べて、大日本と学研では「学びを活かそう」と「エクササイズ 課題の解決」と、教科書の作りから言うと、東京書籍の方は、調和のとれた生活というところに設定されているのではなくて、活用するというようなパートになっていると思われますし、大修館の方は課題を使う教材の単元の冒頭だと思いますが、そこに設定されているように思うのですが、少し質が違う分類がされているように思うので、教えていただけたらと思います。

【佐後会長】

回答をお願いいたします。

【事務局（小林指導主事）】

ありがとうございます。おっしゃる通りですので、書き方として、コーナー名であったり講座名であったりというところで、ちょっとばらつきがあったということを御指摘いただいたので、修正できたらと、併せて統一して、比べやすい形で示したいと思います。

【丹羽委員】

よろしくお願いします。

【佐後会長】

お願いいたします。

他にございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

それでは事務局お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは3点お諮りをいたします。

まず1点目として、薬物の危険性についての表記について検討させていただきます。

2点目について、探求の「求」の漢字についての修正をいたします。

3点目について、⑰番についての各者の表記について検討、修正をさせていただくということの3点でよろしいでしょうか。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

よろしいということで、それでは保健体育につきましては報告を終わりにします。どうもお疲れ様でした。

続いては技術・家庭（技術分野）になります。

【事務局（山田指導主事）】

11時05分から始めさせていただきたいと思います。教科書の入れ替えを行いますので、少々お待ちください。

【佐後会長】

それでは、技術・家庭（技術分野）の調査研究の結果について報告をお願いします。報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（技術専門調査員会代表者）】

では、技術・家庭（技術分野）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それではただいまの調査員からの報告に対して、御意見、御質問を伺いたいと思いますので、資料の方、目を通していただければと思います。

それでは、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

よろしくお願いします。

【藤井委員】

質問ですけれども、東書の①ですが、『エネルギー変換の技術の光と影』ですけれども、190 ページを確認しますと、図 1 という表現がその前にあるかと思います。こちらにつきましては、表記の仕方としてはどのようになっていますでしょうか。

【佐後会長】

回答をお願いします。

【事務局（佐藤指導主事）】

図 1 については、他もこのような図 1 などが入っている部分もありますが、今回は、この図 1 というところについては載せないというところで表記を統一しております。

【藤井委員】

そうしますと、全者、こうした図とかという表現は省いての記載という理解でよろしいですか。

【事務局（佐藤指導主事）】

はい、そのようになります。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

【藤井委員】

はい。

【佐後会長】

それでは、意見も含めて伺いたいと思いますので、何かございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは事務局お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

お話を伺う中では、調査員からの説明等で御了解いただけたと判断し、修正はないと捉えてよろしいでしょうか。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

それでは技術・家庭（技術分野）としましては、報告を終わります。どうもお疲れ様でございました。

この後、技術・家庭（家庭分野）について準備をお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

20 分から開始をしたいと思います。

教科書の入れ替えを行いますので少々お待ちください。

【佐後会長】

それでは、技術・家庭（家庭分野）の調査結果について報告をお願いします。報告書は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（家庭専門調査員会代表者）】

では、技術・家庭（家庭分野）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。それではただいまの調査員からの報告に対して、御意見、御質問を伺いたいと思いますので、資料の方、お目通しください。

それではまず御質問のある方いらっしゃいますでしょうか。

それでは御質問、御意見、併せて伺いたいと思いますので、何かございましたらよろしく願いいたします。

松本委員、お願いします。

【松本委員】

誤植だと思いますが、148 ページの 3 の⑩『日本の伝統的な住まいかた』のかたは、教科書だと漢字になっているので、漢字かなと思います。

それから、155 ページに参考でページが載っていますが、他のところはカタカナでページと書いてありますが、ここだけアルファベットで「P」となっているので、表記が少しずれているところが他にもあるような。

【佐後会長】

御回答いただけますか。

【報告者（家庭専門調査員会代表者）】

申し訳ありません。訂正いたします。

【佐後会長】

2 点ございますのでよろしくお願いします。

他にございますか。

壺井委員、お願いします。

【壺井委員】

154 ページの⑰です。内容更正に工夫や配慮がされているかの「更正」は、構成するの「構成」かと思いますが、御確認願います。

【報告者（家庭専門調査員会代表者）】

訂正いたします。ありがとうございます。

【佐後会長】

他にございますか。

よろしくお願いします。

【小林委員】

先ほどと同じですけれども、151 ページ、家庭分野－4 の2 のかながわ教育ビジョンとの関連⑤のところに、健康の保持増進に必要な適度な運動量のと他のところは「適度な」が入っておりますが、東書さんだけ「適度な」という言葉が抜けていますので、そこだけ修正いただければと思います。

【報告者（家庭専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。訂正いたします。

【佐後会長】

ありがとうございました。

他にございますか。

以上でよろしいでしょうか。

【藤井委員】

非常に些細なことですが、149 ページ、150 ページの⑱のところの四角がちょっとだけずれているかと思うので、修正していただけるといいかと思います。

【報告者（家庭専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。

【篠原副会長】

2 のかながわ教育ビジョンとの関連の⑥について、148 ページ、149 ページ、150 ページで[社会とのかかわる力]というふうに表記されていますが、[社会とのかかわる力]なので、よろしくお願いします。

【報告者（家庭専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。その通りにいたします。

【佐後会長】

ありがとうございました。

他にございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

それでは事務局お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

ありがとうございました。

それでは6点お諮りをいたします。

まず1点目が、148ページの⑩の住まいかたの「かた」の漢字の部分、修正をいたします。

続いて、155ページの題材に関連した神奈川に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載のページの部分、P、ページ、こちらの方は統一をするように修正をいたします。

続いて、3点目、154ページの観点の⑰番の「更正」の漢字、修正をいたします。

4点目、151ページの観点⑤番の適度な運動量についての表記について、同一になるようにこちらの方で修正をいたします。

5点目、四角のずれについては、各教科にも他にあるかもしれませんので、こちらの方は統一して修正をさせていただきます。

6点目、148～151 ページまでの観点の⑥番の社会とのかかわる力の「の」を削除するよう修正をいたします。

以上、修正させていただいてもよろしいでしょうか。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

【藤井委員】

誤植だと思いますけれど、150ページの⑳のところ、採用されているの後にマルが2つございますので、1つ修正されるとよろしいかと思います。

【事務局（山田指導主事）】

承知しました。

では7点目の修正として 150 ページの㉑番のマルを1つ削除いたします。ありがとうございます。

【佐後会長】

以上でよろしいでしょうか。

お願いします。

【小日向委員】

先ほどの[社会とかかわる力]の表記については、152 ページにも同じものがありますので、お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

承知しました。

8点目として 152 ページの観点の⑥番についても、先ほど同じように、「の」を削除するよう修正をいたします。ありがとうございます。

【佐後会長】

他によろしいでしょうか。

事務局の方で確認していただいて、修正のほうよろしく願いいたします。

それでは、技術・家庭（家庭分野）につきましては、報告を終わりにします。どうもありがとうございました。

ここで昼食休憩に入りたいと思いますが、事務局、予定通りの時間の再開でよろしいですか。

【事務局（山田指導主事）】

申し訳ありませんが、12時30分からの再開ということでよろしいでしょうか。

【佐後会長】

それでは、再開は12時30分といたしますので、よろしく願いいたします。

どうも皆様、お疲れ様でした。

<昼休憩>

【古島支援部長】

支援部長の古島でございます。皆様、こんにちは。急な対応がございまして、今日の朝は映像で失礼いたしました。御協力いただきありがとうございます。

【長田子ども教育支援課長】

子ども教育支援課長の長田でございます。

【古島支援部長】

午後もどうぞよろしくお願いします。

【司会（酒井指導主事）】

それではただいまより、午後の議事を始めたいと思います。

その前に、神奈川県PTA協議会会長 小林真希委員が御公務の都合で早退をさせていただいております。御報告いたします。

また、横須賀市立久里浜中学校 学校運営協議会委員 関島委員も御早退されたことをお知らせさせていただきます。

それでは、佐後会長、午後の進行を引き続きよろしくお願いいたします。

【佐後会長】

それでは午後の方、再開させていただきますが、最初に事務局の方でお話があるということで、事務局お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

事務局より失礼いたします。午前中、萩原委員からいただきました、教科書の価格についての御回答をさせていただきます。

まずは、義務教育段階の教科書は無償であるという大前提の基に回答になることと、こちらの調査研究については、目録の中にある教科書の調査研究を行っているということは午前中御回答させていただいた通りです。それに加えて、今、御机上に何部か令和7年度使用の教科書目録を置かせていただきました。その中に、教科書の予定価格が書かれておりますので、よろしければそちらも御参考に御覧いただければと思います。以上でございます。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、社会（地理的分野）につきまして調査結果の報告をお願いします。報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（地理専門調査員会代表者）】

では、社会（地理的分野）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見と御質問を伺ってまいりたいと思います。少し時間を取りますので、確認をお願いします。

それでは、まず質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは御質問と御意見併せて伺いたいと思いますので、御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。

【小日向委員】

④番、分量・装丁・表記等のところで、帝国と日文のところ、『世界の様々な地域』の「様々」が漢字になっていますが、平仮名が適当かと思います。教科書は平仮名になっておりますので、御確認いただけたらと思います。

【佐後会長】

回答をお願いします。

【報告者（地理専門調査員会代表者）】

他教科との整合性を踏まえて検討をしたいと思います。

【小日向委員】

いえ、教科書の表記が平仮名です。

【報告者（地理専門調査員会代表者）】

修正を加えたいと思います。

【佐後会長】

教科書の表記がこうなっておりますので、それに合わせるということでお願いいたします。

他にございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

それでは事務局お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

ありがとうございます。

それでは1点お諮りいたします。

30 ページ、31 ページの観点⑱番の「様々」という漢字。平仮名表記に修正をいたしたく思います。よろしいでしょうか。

【佐後会長】

皆さんよろしいでしょうか。

ではよろしいということでお願いします。

それでは、社会（地理的分野）につきましては報告を終わりにします。どうもお疲れ様でした。続いて社会（地図）について準備をお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

50 分から始めたいと思います。教科書の入れ替えを行いますので、少々お待ちください。

【佐後会長】

それでは、社会（地図）について調査結果の報告をお願いします。報告書は自己紹介と、調査研究結果について報告をお願いします。

【報告者（地図専門調査員会代表者）】

では、社会（地図）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見、御質問を伺いたいと思います。少し時間を取ります。

それではまず、質問のある方がいらっしゃいましたら、御発言をお願いいたします。

それでは御意見を併せてありましたら、御発言をお願いいたします。

松本委員、お願いします。

【松本委員】

3 の内容と構成ですけれども、これまで他教科では、カリキュラム・マネジメントということで、教科間の目標を異にする教科間の横断した学習について記載があったと思うのですが、地図帳で、歴史的分野・公民的分野の学習と内容をやるのは当たり前のことで、これをカリキュラム・マネジメントというふうな形で表記するのはどうなのかなと思います。

【佐後会長】

回答をお願いします。

【報告者（地図専門調査員会代表者）】

御指摘ありがとうございます。内容については再度検討して、修正を加えたいと思います。

【佐後会長】

事務局に伺いますけども、この内容の検討というか、追加とか、視点の部分になるかと思うのですが、そこはどうされますか。

【長田子ども教育支援課長】

御指摘ありがとうございます。子ども教育支援課長田でございます。

カリキュラム・マネジメントということで、教科横断的というところではあるのでございますが、地図という特性もございまして、教科間ではないのですけれども、地理と社会科の中の歴史・公民と関連する項目ということで、このカリキュラム・マネジメントについてという項目に示させていただければと事務局としては考えておるところでございますが、松本委員がおっしゃっていただいたように、本来でのカリキュラム・マネジメントとは、3つの部分とは認識はしているのですが、先ほど申し上げたような形で掲載させていただければと事務局としては考えております。以上でございます。

【佐後会長】

松本委員いかがですか。

【松本委員】

資料をパラパラ見たら、歴史のところも、公民的分野との関連というふうにあって、ちょっと違うのではないかと思います。だから、カリキュラム・マネジメントという言葉を使わないで、教科の目標に即して地図を活用するとかというふうに、もう少し学習指導要領に正確に書いてもいいのかなと思いました。

【佐後会長】

はい、事務局。

【古島支援部長】

ありがとうございます。例えば料理について示されている場合、技術・家庭科と関連があると考えられるのですが、教科書の調査という意味で、教科書の中で、例えばマークで示されているとか、そういうはっきりと明記されているという部分について、調査の上でこのような表記というふうにさせていただいています。カリキュラム・マネジメントについても、カリキュラム・マネジメントの3つの側面もあるので、広く捉えれば色々と考えられるところがありますが、教科書の調査ということで、教科書上に明記されているということを基本にこちらの方に表記をさせていただいているところでございます。以上です。

【佐後会長】

今回教科書の調査という視点でまとめたというそういう説明でございますが、何か他の委員の方から、この件に関して御意見ございますか。

【丹羽委員】

今、松本委員から御指摘いただいたところは私も気にはなります。他教科等との関連、横断的な関連だけではなく、カリキュラム・マネジメントそのものは学びの質の向上ということが根底にあるわけなので、教科書もしくはこの地図帳の中で、よりよい学びを築いていくとか、学びの質の向上に資する観点をもう一度さらっていただくのもいいのかなというふうに思っていて、他の観点との重複というのは可能でしょうか。

例えば、他の観点の中でも学びの質の向上については例えば地図帳の帝国書院でいうと、地図で発見というところは、まさにその学びの質の向上に資するところだと私は思うのですが、そういった意味では、他に探せばあるのかなと思うので、もう少しそのカリキュラム・マネジメントの解釈の原点に返ると、他のものも見えてくるのではないかと思いますけれども、いかがでしょうか。

【佐後会長】

今の御指摘について、回答されますか。

【事務局（山田指導主事）】

今のところ、現状 21 の観点がある中で、それぞれ学習指導要領との関連を考えて、重複がないように棲み分けをしているところでございます。ですので、こちらの方もなるべく他の観点と棲み分けをきちんとするように整理をしておりますので、今後考えるときにはそのような視点も踏まえてやっていくということでございます。

【佐後会長】

いかがですか。よろしいですか。

【丹羽委員】

観点が重複してはまずいということであれば、もうそれで仕方がないかと思いますけど。

【佐後会長】

事務局、何かございますか。

【長田子ども教育支援課長】

ありがとうございます。繰り返しになりますが、他の観点との棲み分け、整理した上で、この調査研究資料を作成させていただいてお示ししているというところでございます。そうした中で、やはりカリキュラム・マネジメントの視点というのは委員のおっしゃる通りでございますので、そういうところも含めて検討していきたいとは考えておりますけれども、事務局としての考えとしては、先ほど申し上げた通りでございますので、御理解いただければというところです。

【佐後会長】

そうしますと、今審議しているこの内容について検討しているわけですが、このカリキュラム・マネジメントという文言をこのまま使うかどうかということに関しては検討されるということでしょうか。それとも、もう整理はしないということですか。その修正の視点はどのようなお考えでしょうか。

【長田子ども教育支援課長】

ありがとうございます。観点につきましては、すべての種目、同じ観点で作成させていただいておりますので、そこを変更するということは現時点では考えておりません。それ以降のところについて、先ほど申し上げたような視点で、また事務局の方で検討をさせていただければと考えております。

【佐後会長】

ということで、大変な側面があるという考えをもとに、この表記を使っていく。ただし、事務局の方では検討はされる。

【長田子ども教育支援課長】

ありがとうございます。同じような回答で大変恐縮ですけれども、カリキュラム・マネジメントについてというリード文についてはこのまま置かせていただいて、それ以降の部分について皆様の御意見を参考とさせていただきながら、事務局で検討をさせていただきたいと考えております。以上でございます。

【佐後会長】

という御説明ですが、御発言いただきました委員の皆様、よろしいですか。

はい、よろしいかと思えます。

他にございますでしょうか。

お願いいたします。

【藤井委員】

81 ページの参考のところですが、神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載につきまして、どのような基準で選ばれているのかということにつきまして、教えていただけますでしょうか。といいますのは、例えば、138 ページは横浜中華街が 81 ページの方には記載されてございますが、日本文化のところに箱根寄木細工という表現もございます。そうしたふうに地図を見ていきますと、様々なところで神奈川県に関する内容というものが確認できます。例えば 116 ページの関東地方の在留外国人というところにつきましても、東京、埼玉、千葉、神奈川が掲載されてございます。81 ページのところを確認しますと、それらは、こちらの方には掲載されてございません。どのような基準で掲載しているのかということにつきまして、教えていただけたらと思います。

【佐後会長】

ありがとうございます。これについて回答をお願いいたします。

【報告者（地図専門調査員会代表者）】

地図をすべて見て確認したつもりだったのですが、これについては見落としていた部分があったということです。付け加えたいと思います。

【事務局（山田指導主事）】

事務局からよろしいでしょうか。

【佐後会長】

はい、説明をお願いします

【事務局（山田指導主事）】

こちらタイトルにもありますように、題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載になりますので、すべて網羅しているわけではないというところを御理解いただければと思います。あくまで主なということで、いくつか抜き出して書かせていただいていると御理解いただければと思います。

【藤井委員】

ありがとうございます。その主なというときの掲載の基準を教えてくださいと思います。

【佐後会長】

事務局いいですか。

【事務局（山田指導主事）】

教科書の記載の中で明らかに神奈川と分かるものについてはいくつか取り上げていくということとは考えておりますけれども、それをすべてというのがなかなか難しい部分がございますので、「主な」と書かせていただいている次第です。もしかすると、他にも出てくる可能性はありますが、例えばこういうものがありますと、書いているというという回答になります。

【佐後会長】

よろしいですか。

【藤井委員】

はい、わかりました。

【佐後会長】

そうしますと、今、質問で基準ということでの発言だったと思うのですが、これを資料とすることにあたって主にとということの基準として、皆様が見る中で、これももう少し主なものだというものがあればここへ出していただいて、それについて事務局等でまた御検討いただくということにしたいと思いますが、委員の皆様で、これはやはり主な基準ではないですけど、載せるべきだというものがもしお気づきであれば、御発言いただければと思います。

お願いします。

【小日向委員】

東京書籍の159ページに日本の統計とあるのですが、帝国書院も当然181ページに同じものがありますので、載せるなら両方にすべきかなと。ただ、これは47都道府県すべて載っているものなので、あえてここに記載するべきものか、ちょっと難しいことだなと感じました。

【佐後会長】

今のお話は回答ございますか。

【事務局（山田指導主事）】

こちらの方で内容確認をさせていただきます。

【佐後会長】

承知しました。それでは意見として、今出たということで受けていただければと思います。  
お願いします。

【藤井委員】

116 ページにも神奈川県がございますので、よろしければ御検討いただけたらと思います。

【佐後会長】

そうですね。確認できますか。

それでは、意見として挙げさせていただきます。後ほど事務局に整理をお願いしたいと思えます。

他にございますか。

【藤井委員】

138 ページの日本の文化のところですけども、箱根寄木細工という表現がございますので、こちらにつきましても御検討いただけたらと存じます。

【佐後会長】

ありがとうございます。他よろしいでしょうか。

今、議論になっている関係以外で何かございますか。

では、以上でよろしいでしょうか。

それでは事務局お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは2点お諮りさせていただきます。

1 点目が、それぞれ2つの発行者におけるカリキュラム・マネジメントについて、観点で言うと⑧番になりますが、そちらの観点の趣旨としては、全体、他の教科にもまたがることですので、趣旨は変えない方向ですけども、内容については改めて検討させていただければと考えています。

2 点目について、神奈川の表記について、改めて内容を確認したいと考えております。以上でよろしいでしょうか。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

よろしいということで、よろしくをお願いします。

それでは社会（地図）につきましては、報告を終わりにします。どうもお疲れ様でした。

次は理科を扱いたいと思いますが、事務局の方で準備をお願いします。

それでは、理科につきまして調査結果について報告をお願いします。報告書は自己紹介と、調

査研究結果について報告をお願いします。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

では、理科の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見と御質問を伺いたいと思います。

まず、御質問のある方いらっしゃいましたら発言をお願いいたします。

それでは、御意見も併せて伺いたいと思いますので、御質問、御意見ございましたら、御発言をお願いいたします。

松本委員、お願いします。

【松本委員】

誤植の発見ですけど、100ページ、1の教育基本法の③ところですけれども、教科書につきまして、探求の「求」が究めるになっています。

それから、⑭のC a n－D Oの「O」が小文字になっているので、修正をお願いします。

【佐後会長】

回答ありますか。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

御指摘ありがとうございます。修正いたします。

【佐後会長】

はい、お願いいたします。

他にございますでしょうか。

お願いします。

【慶徳委員】

資料の103ページの③にも、同様の「探求」の部分が幾つかあるかなと思いますので、学図の探求の部分です。御確認いただけたらと思います。よろしくお願いします。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

大変失礼いたしました。ありがとうございます。

【佐後会長】

ありがとうございました。

他にございますか。

お願いします。

【藤井委員】

99ページの⑮と⑰の自由研究にチャレンジしよう！が、学習活動に分類されているものと、コ

一ナー等のものと記載が両方あるかと思いますが、これは統一されますでしょうか。どのように理解すればよろしいでしょうか。

【佐後会長】

ありがとうございます。回答をお願いしますか。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。学習活動に一本化するという方向で修正したいと思います。

【佐後会長】

学習活動の方に一本化するというところでございますが。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

失礼いたしました。検討したいと思います。

【佐後会長】

今の御指摘について、検討されるという御理解でよろしいでしょうか。

【藤井委員】

はい。

【佐後会長】

他にございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

それでは事務局お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

では2点お諮りをいたします。

1点目が100ページと103ページにある探求の「求」の字についてですが、改めてこちらで確認をさせていただきます。

2点目、99ページの⑮番と⑰番の観点、同じコーナーで隅付きカッコと二重カギカッコについても、こちらの方で検討させていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

【佐後会長】

皆さん、よろしいですか。

それではお願いいたします。

それでは、理科につきましては報告を終わりにします。どうもお疲れ様でした。

続いては国語の書写を扱いたいと思います。

それでは、国語（書写）についての調査結果について報告をお願いします。報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（書写専門調査員会代表者）】

では、国語（書写）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見、御質問を伺いたいと思います。

まず、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは、御意見も併せて伺いたいと思いますので、御質問、御意見ございましたら、御発言をお願いいたします。

お願いします。

【佐藤委員】

光村図書の①番のところの知識・技能の留意点が『学びのかぎ』に掲載されているというふうにありましたが、見本本だと、学びのかぎのところの「かぎ」がカタカナになっています。

【報告者（書写専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。

【佐後会長】

それでは、教科書に合わせた表記に訂正をお願いしたいと思います。

他にございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

お願いします。

【藤井委員】

20 ページですけれども、⑫のところの『書の古典鑑賞』という表現なのですが、これは教科書のコラムの『書の古典の鑑賞』の箇所になりますでしょうか。もしそうであるなら、古典鑑賞となっていますので、恐らく「の」が抜けているかもしれません。

【報告者（書写専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。

【佐後会長】

では、教科書の表記を確認してください。ありがとうございました。

他によろしいでしょうか。

では事務局お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは2点お諮りをいたします。

1点目、21 ページ①の学びの「かぎ」の平仮名、カタカナを確認の上、修正をいたします。

2点目、20 ページ、⑫番の観点、古典の鑑賞、古典鑑賞について、表記を改めて確認の上、修正をさせていただいてもよろしいでしょうか。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

それではお願いいたします。

それでは、国語（書写）つきましては報告を終わりにします。どうもお疲れ様でした。

次は音楽（一般）扱いたいと思います。

【事務局（山田指導主事）】

45 分からは予定しておりました。急いで準備をさせていただきます。もう少々お待ちください。

【佐後会長】

それでは、音楽の調査結果について報告をお願いします。報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（音楽専門調査員会代表者）】

では、音楽（一般）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見と御質問を伺いたいと思います。

まず、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは、御意見も併せて伺いたいと思います。御質問、御意見ございましたら、御発言ください。

お願いします。

【田村委員】

2 者の教科書について比較しやすいまとめをありがとうございます。

表記のことについての意見ですが、まず112 ページの⑥のところで、ここは瑣末なことです、二重カギカッコで、私たちが受け継ぐ郷土料理の祭り芸能のところの末尾が、二重カギカッコになっていないので、ここの統一をお願いします。

それから、113 ページの⑪の体験活動の充実のところ、【指揮をしてみよう！】に唱歌や謡といったの伝統音楽を体験するとあるので「の」の削除をお願いします。

あと確認ですが、110 ページの⑭や⑮のまなびリンクというのは、二重カギカッコと、学習活動の偶付きカッコでこれは違いがあっているのかということについて教えてください。以上です。

【佐後会長】

質問の部分が一番最後でございますので、それでカギカッコの使い方がよいかどうかについてまず御回答いただけますでしょうか。

【報告者（音楽専門調査員会代表者）】

御指摘ありがとうございました。

御質問いただきましたまなびリンクにつきましては、こちらにも気になりますので、二重カギカッコで統一をしたいと思います。

【佐後会長】

今の質問に対してはそういうことで、間違いだったということでございますが、事務局よろし

いですか。

【事務局（山田指導主事）】

確認をさせていただいてよろしいですか。

【佐後会長】

事務局で改めて確認の上ということで、今の質問に対する答えでございます。

それから、先ほど2点、別件で指摘した部分につきましては表記の間違いということでよろしいですか。

【事務局（山田指導主事）】

はい、修正します。

【佐後会長】

こちらも確認していただきたいと思いますが、よろしくお願いいたします。

他にございますでしょうか。

お願いします

【松本委員】

表現上の問題ですが、⑧のところが、社会科と関連するというふうになると、暮らしとか、日本の歴史というようなところにかかってしまうので、関連してという方がより正確ではないかなと思います。

【佐後会長】

今の御指摘につきましては回答ございますか。

【事務局（山田指導主事）】

表記についての問題ですが、こちら確認の上、修正をしたいと思います。

【佐後会長】

分かりました。

他にございますでしょうか。

お願いします。

【丹羽委員】

教育芸術社さんの観点でいうと⑤と⑬の著作権に関わる場所ですけれども、二重カギカッコの中に入っている、まず⑤の観点は『ルールを守って楽しく音楽を楽しもう！』、⑬は『著作権とは～音楽は誰のもの？～』というのが出てきていて、同じ見開きのページの中の大きい題が『ルールを守って音楽を楽しもう！』で、その中のパートが『著作権とは～音楽は誰のもの？～』になっています。この辺が同じ二重カギカッコの中に入っていていいのか、教えてください。

【佐後会長】

今のは質問でございますので、これにつきまして、回答お願いできますでしょうか。

【報告者（音楽専門調査員会代表者）】

御指摘ありがとうございます。

小さいコーナー名が、資料Ⅱの⑬教芸の欄の『著作権とは～音楽とは誰のもの？～』という表記をしておりますが、確認をしまして、活動名に修正を行うか検討させていただきたいと思えます。

【佐後会長】

では、同じページの内容に関して、どちらの表記を使うかという確認をした上で、検討されるということの回答でよろしいですかね。

【丹羽委員】

はい。

【佐後会長】

承知しました。

他にございますか。よろしいですか。

以上でよろしいということでございますので、事務局お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

5点お諮りをいたします。

まず、112ページの⑥番のカギカッコの部分。こちら確認のうえ修正いたします。

2点目が113ページの観点⑪番の「の」について、確認の上、削除したいと思います。

次、3点目、114ページの観点⑭、⑮における隅付きカッコと二重カギカッコのことについて、こちらの方で確認をさせていただきます。

4点目、111ページの観点⑧番、関連するではなく関連してに修正。

5点目が112ページから113ページ、教育芸術社の観点⑤番と⑬番の二重カギカッコの中身について確認をさせていただきます。

以上5点について、確認、修正とさせていただいてよろしいでしょうか。

【佐後会長】

今の事務局の説明でよろしいでしょうか。

よろしいということでございます。

それでは、音楽（一般）つきましては終了いたします。どうもお疲れ様でした。

【事務局（山田指導主事）】

では、教科書の入れ替えを行った上で、音楽（器楽合奏）を続けて行います。

【佐後会長】

それでは、音楽（器楽合奏）の調査結果について報告をお願いします。報告書は改めて自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（器楽合奏専門調査員会代表者）】

では、音楽（器楽合奏）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見、御質問を伺いたいと思います。

まず、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

お願いします。

【佐藤委員】

質問というか、自分が教えて欲しいなと思ったところですけど、⑲番に楽器の順番が出てきていると思いますが、教出と教芸で出てくる順番が、少し楽器が入れ替わったりしていると思うのですが、出てくる楽器の順番は、特に指導上、先にリコーダーをしていた方が次にこの楽器がいいとかというのは、音楽の授業としてはすごく重要なことはあるのでしょうか。

【佐後会長】

回答をお願いします。

【報告者（器楽合奏専門調査員会代表者）】

学習の活動の設定としまして、3年間を通して、指導者が配列を、指導者が確認して行うような形で教科書を設定されているかと思います。

【佐藤委員】

ここに順番が書いてあったので、例えばリコーダーをやった後にギターをした方が、学習として、何かこう生きてくるものがあったり、和楽器を後半にもってきた方がいいとか順番が示されてるということで、そういうものの意図があったのかなと、読んだものとしては思っただけです。

【報告者（器楽合奏専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。他にございますか。

お願いします。

【松本委員】

くどいように申し訳ないですけど、このカリキュラム・マネジメントは、大分他の教科と書きぶりが違うのですが、このままでいいのかという、どうなのかなという御質問です。

【佐後会長】

質問という形でカリキュラム・マネジメント、先ほども話題がありましたが、音楽に関してこの表記でよいかどうかということですが、これについては事務局の方で何か見解ございますか。

【事務局（山田指導主事）】

こちら趣旨は変わらないですが、内容についてはまた確認をさせていただいてもよろしいで

しょうか。

【佐後会長】

今の回答の通り、確認をしたいということで、検討されるということですが。

【長田子ども教育支援課長】

ありがとうございます。カリキュラム・マネジメントは先ほどからもありますように、複数の教科等との連携を図りながら授業を作るという視点で記載をさせていただいているところですが、教科書の調査ということでございますので、教科書に明確に、例えば数学科と関連しているとか、そのような類のものがあればここに表現をさせていただいているところではございません。今回、器楽の部分については、先ほど申し上げたような、明確な表記等を調査した中で見受けられなかった部分がありまして、そこでこのように複数の教科等との連携という視点で表現をさせていただいている、そのように整理をさせていただいております。やはり先ほど御意見いただいたところもそのような視点で検討をさせていただければと考えております。

また、今後出てくるものについても同様の視点で検討させていただきたいと考えておりますというのが事務局の回答でございます。

【佐後会長】

よろしいですか、今の回答で。

ということで質問でございましたので、お答えいただきました。ありがとうございます。

それでは、質問に加えて御意見も含めて伺いたいと思いますので、御質問、御意見ございましたら、御発言をお願いいたします。

小日向委員お願いします。

【小日向委員】

誤記かと思いますが、117 ページの㊸番、『すべての生徒のから始まる場所の2つ目の二重カギカッコのところだけマルがないです。なのでマルかと思います。原文を確認したところ、最初のすべてが漢字の「全て」になっているかと思いますが、こちらも併せて確認いただければと思います。

また、事務局に御迷惑をおかけして大変申し訳ないのですが、同じ目を見たときに、音楽一般の方も同様のことがございましたので、御確認いただけたらと思います。

【佐後会長】

今のは御指摘をいただきましたので、これは確認をしていただくということでお願いしたいと思います。

他にございますでしょうか。

お願いします。

【佐藤委員】

117 ページの㊸番のところ、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八5種類の和楽とて書いてあるのです

が、和楽器かなと思いました。116 ページの⑩は和楽器と書いてあります。

【佐後会長】

これはいかがですか。

【報告者（器楽合奏専門調査員会代表者）】

和楽器となります。御指摘ありがとうございます。

【佐後会長】

これも確認した上で、また修正等を行っていただければと思います。

ありがとうございます。

他にございますか。よろしいでしょうか。

それでは以上でよろしいということでございますので、事務局、お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

では3点お諮りをいたします。

まず、カリキュラム・マネジメントの部分について、他教科との関連という部分で、もう少し内容が異なるということについては、改めて他の教科も含めて検討させていただきます。

2点目、117 ページの観点⑪番のことについて、漢字あるいはマルが抜けているところ、確認して修正をさせていただければと思います。

3点目、117 ページの観点⑩の和楽器の部分、確認の上、追加、修正をさせていただければと思います。以上です。

【佐後会長】

以上ありましたけれども、皆さんそれでよろしいでしょうか。

よろしいということでございます。

それでは、音楽（器楽合奏）につきましては報告を終わりにします。どうもお疲れ様でした。

次は美術でございますが、これにつきまして準備の方お願いします。

【事務局（山田指導主事）】

教科書の入替えをさせていただきます。よろしくお願いします。

【佐後会長】

それでは、美術の調査研究の結果について報告をお願いします。報告者は自己紹介と調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（美術専門調査員会代表者）】

では、美術の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見、御質問を伺いたいと思います。

まず御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

お願いいたします。

【森川委員】

御説明ありがとうございました。素人考えで申し訳ありませんが教えていただきたいのですが、光村図書のカリキュラム・マネジメントについてですが、美術1の教科書の一番最初にうつくしい！という詩が書いてあります。こちら朗読も聞けるようになっているのですが、国語との連携、まさに国語の方にも光村はうつくしいに関しての詩が入っていたかと思うのですが、国語との連携で国語の学習にもうつくしいというものの捉え方についてに繋がるのかなと思ったのですが、お考えを教えてください。

【佐後会長】

回答をお願いいたします

【事務局（永野指導主事）】

観点⑧のカリキュラム・マネジメントについては、光村図書は、音楽科と関連する学習活動ということが教科書にしっかり明記されているものについて取り上げさせていただきました。

うつくしい！の詩も関連はしているかと思いますが、国語科との関連という記載、明記はなかったもので、こちらを選ばせていただきました。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

【森川委員】

ありがとうございます。

【佐後会長】

他に御質問ございますか。

それでは、御意見も含めて伺いたいと思います。御質問、御意見ございましたらお願いいたします。

お願いします。

【松本委員】

124 ページの⑧に道徳科とありますが、特別な教科 道徳という表記ではなくていいのかという確認です。

【佐後会長】

確認ですけれども、道徳科で合っていますか。

【事務局（山田指導主事）】

道徳科と表記をする場合がありますので、こちら確認をさせていただきます。

【佐後会長】

事務局の方で確認をお願いいたします。

他にございますか。以上でよろしいでしょうか。

それでは事務局お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは1点、お諮りをいたします。

124ページの⑧番の道徳科の表記について、こちらの方で確認をさせていただければと思います。  
よろしいでしょうか。

【佐後会長】

よろしいでしょうか。

よろしいということで、お願いします。

それでは、美術につきまして報告を終わりにします。どうもお疲れ様でした  
事務局の方、ここで休憩をとりたいと思いますが、再開時刻に関しまして。

【事務局（山田指導主事）】

40分から再開させていただいてよろしいでしょうか。

【佐後会長】

それでは再開は14時40分からといたしますので、よろしくをお願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

事務局より御連絡をします。今、皆様の壁の方にパソコンを並べておりますが、この後、英語  
がございまして、英語のデジタル教科書について閲覧できるようになっております。ホワイトボ  
ードの方にパスコードも書いてありますので、もしよろしければ、ぜひ、内容を御確認いただ  
ければと思います。よろしくお願いします。

【佐後会長】

それでは、時間になりましたので再開したいと思います。

次に、社会（歴史的分野）について扱いたいと思いますので、準備のほうお願いします。

それでは、社会（歴史的分野）の調査結果について報告をお願いします。報告者は自己紹介と  
調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（歴史専門調査員会代表者）】

では、社会（歴史的分野）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終  
わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見と御質問を伺ってまいりたいと思いま  
す。

まずは御質問ある方いらっしゃいましたら御発言をお願いいたします。

それでは、御意見も併せて伺いたいと思いますので、御質問、御意見ございましたら御発言く

ださい。

松本委員、お願いします。

【松本委員】

本当に何度もしつこく申し訳ないのですが、山川と学び舎のカリキュラム・マネジメントのところで、同じ社会科の他分野のことを言及していますけれども、同じ教科の中で関連するのは当たり前なので、ましてや社会の部分なので、ここは探せば多分あると思うので、他教科を掲載した方がよろしいのではないかなと思います。以上です。

【佐後会長】

御意見という形でだと思いますけれども、同じ教科で分野が違うということに関して、歴史以前からも御議論もあったところでございますが、これにつきましては見解ございますか。

【事務局（山田指導主事）】

先ほどから御意見をいただいていますので、まとめてこちらの方で検討させていただきたいと思います。

【佐後会長】

御意見ありがとうございました。

他にございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

それでは、以上でということでございますので、事務局の方、お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

では1点お諮りをいたします。

先ほど御意見をいただきました山川と学び舎について、⑧番の観点、カリキュラム・マネジメントの同教科の内容について、内容の検討をさせていただければと思います。よろしいでしょうか。

【松本委員】

あと、教育出版も同様の記載なので、よろしくをお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

承知しました。では、教育出版、山川、学び舎、この3者の内容を検討させていただきます。

【佐後会長】

検討するということでございますが、皆様よろしいでしょうか。

ではよろしいということでございます。

それでは、社会（歴史的分野）につきましては報告を終わります。ありがとうございました。

次は社会（公民分野）でございますが。

【事務局（山田指導主事）】

10分から始めたいと思います。教科書の入れ替えを行いますので少々お待ちください。

【佐後会長】

では、10 分から行います。

それでは準備が整いましたので、社会（公民的分野）の調査結果について報告をお願いします。  
報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（公民専門調査員会代表者）】

では、社会（公民的分野）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見、御質問を伺いたいと思います。

まずは御質問のある方、御発言をお願いしたいと思います。

丹羽委員。

【丹羽委員】

ちょっと教えてください。学習活動の捉えなのですが、各者を比較するものではないですけど、ただそれが見えてこないところがあって、例えば東京書籍の【みんなでチャレンジ】というところがあって、他の発行者にももちろんそういうのがあるのですが、同じ観点で、3 の内容と構成の⑩のところですけども、東京書籍は、【みんなでチャレンジ】に設定されていると。教育出版は同じ⑩の観点でいくと、【進む少子高齢化社会】に設定されていると。お互いにその教科書を見てみると、お互いが学習活動、活動かどうかは別としても、学習の内容を示している部分ではあるんです。で、東京書籍のみんなでチャレンジというのは、コーナーの名前で、進む少子高齢化社会の方はコーナーではないけれども、この見開きの2 ページの中で考えさせるようになっていて、この学習活動とそのコーナーについても同じような扱いをされているようですけども、そのあたりを教えていただけるとありがたいです。

【佐後会長】

ありがとうございました。

今のその扱いの部分について、どのように解釈して協議しているかという御質問ですので回答をお願いします。

【報告者（公民専門調査員会代表者）】

この文章を考えるにあたって、【みんなでチャレンジ】のようなコーナー的な名前がある部分に関しては書きやすかったのですが、そのコーナーがない単発の、先ほど言ったようなところに関していうとなかなか挙げづらいというか、タイトルはどれを書いた方が分かりやすいのかというところがあって、その中でちょっと同じような並列みたいな感じになっているわけですが、やはりコーナーがいっぱいある中の内容なので、もう少しその③番のところでも、みんなでチャレンジのこの内容とした方が、もしかしたら分かりやすかったのかもしれない。

【丹羽委員】

分かりました。ありがとうございます。

【佐後会長】

質問に対してお答えいただきましたが、今の分かりやすいかもしれないという部分に関しては、今後検討される余地があるのでしょうか。

【事務局（山田指導主事）】

検討させていただいてよろしいですか。

東京書籍だけ大きなものとして見えるということですかね。

【丹羽委員】

そうですね。その辺は、例えば帝国書院は【アクティブ公民AL】、そういった書きぶりもあるので、その辺のところは一貫性がないとは言わないですけども、だから発行者によって、捉え方が違うように見えてしまいそうだというくらいです。

【佐後会長】

では、質問と併せて御意見というふうに承りたいと思いますので、含めて御検討お願いします。他にございますか。御意見も含めて結構でございます。御質問、御意見がございましたらお願いします。

お願いします

【藤井委員】

64 ページの③と⑩ですけれども、先ほどの質問とも重なるところかと思います。こちらも、チャレンジ公民というコーナーの中の【道路の拡張計画について考えよう】という内容となっておりますと思うのですが、内容が記載されているということは、ここだけを指し示すものかと思います。

コーナーを指し示す場合はたくさんの方がそれに該当するけれども、これだけを指し示す場合は、この該当のこのページの箇所のみということだという理解でよろしいでしょうか。

【佐後会長】

これは質問ということになりますので、回答をお願いしたいのですが、あえてここはこの内容を指摘しているのか、コーナー全体としてではない区分けをしているかということで、この部分について、御回答いただけますか。

【報告者（公民専門調査員会代表者）】

③番は【明日に向かって】という大きなコーナーの中の具体例ということ載せています。

それから、⑩番に関しましては、大きなタイトルに関しましては、タイトル全体で考えていくという内容で、その中の細かい具体的な道路拡張だとか 15 歳は子ども？大人？となってくると、それぞれのテーマというか内容というふうに思います。

【藤井委員】

分かりました。そうしましたら、恐らくそのテーマになっているところとテーマの次にくるタイトルが記載されているものが混在しているということかと思いますので、より読みやすく、分かりやすくなるような表記となれば望ましいかなと思いました。

【佐後会長】

今、御指摘だと思います。混在しているということを受けとめられて、印象があるということです。ちょっと整理をしていただく必要があるかと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

他ございますか。

【藤井委員】

続けて失礼いたします。65 ページの③ですが、体育館の使用問題という表現になっているかと思ひます。教科書の方では体育館使用問題①②③④という形で記載があるところを指しているという理解でよろしいでしょうか。

【報告者（公民専門調査員会代表者）】

そうです。36 ページから 39 ページにわたっている内容になりますので、そういう①～④までの内容でございます。

【藤井委員】

そうしましたら、体育館の使用問題①～④というような表現の方に合わせていただく方がよろしいかと思ひました。

【佐後会長】

これは御意見として、今その方がいいのではないかということでございますので、これについてはまた検討していただいて、表現を整えていただければと思ひます。

ありがとうございました。

他にございますか。

【小日向委員】

1 つ誤字だと思うのですが、61 ページの東京書籍の⑤のところで、IoT にいて触れているかと思ひますが、IoT になっているので、IoT に直すべきかと思ひます。以上です。

【佐後会長】

分かりましたか。大丈夫ですか。では、確認していただいて、御指摘ありがとうございました。

他はございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

それでは事務局お願ひします。

【事務局（山田指導主事）】

では4点お諮りをいたします。

まずは、観点⑩番、特に資料Ⅰの⑩番について、各発行者との表記の捉えについて、確認の上、検討をさせていただきたいと思ひます。

2点目、64 ページの③番と⑩番について、隅付きカッコの内容として、どこを取り上げるかということについて、観点の趣旨についてどのような学習活動を取り上げているかということがありますので、一概にそろえることができるかどうかというところはまた改めて検討したいと思えますけれども、内容の確認をしたいと思えます。

続いて、65 ページの③番の観点、体育館の使用問題について確認の上、修正をさせていただければと思えます。

4点目、61 ページの IoT のアルファベットについて、確認の上、修正をさせていただければと思えます。よろしいでしょうか。

【佐後会長】

今の整理でよろしいでしょうか。

よろしいということで、事務局よろしく願いいたします。

それでは、社会（公民的分野）につきましては報告を終わります。どうもお疲れ様でした。

ここで、次が外国語（英語）になりますが、事務局の方で事前の説明があります。

【事務局（山田指導主事）】

2点ございます。まず、英語の資料につきまして、今まで使っていた教科用図書調査研究の結果から、修正をしているものでございますので、今回の英語については、今お配りをしたもので内容を御確認いただければと思えます。こちらが1点目の御案内です。

2点目について、御説明の前に事務連絡をさせていただきます。現在、教育出版の英語の教科書見本において、一部掲載箇所の差し替えを含めて、内容に関して変更の対応を検討しているという旨、当該の発行者から連絡があったところです。このことについては一部報道でも取り上げられているところでございます。具体的には、教育出版 ONE WORD English Course 3 の 53 ページの写真、54 ページの日本語の指示文や英文、写真等、そして 60 ページの英文の写真となっております。

このことについて、文部科学省に問い合わせをしましたところ、調査研究につきましては、各都道府県の判断になる旨、回答がありました。これを踏まえて、過去にも配布された教科書見本から内容の差し替えということは過去にもございました。

こういうことから、県教育委員会の対応としては、現状の教科書見本で調査研究を行い、資料を作成する方針であります。なお、今回のこちらの資料につきましては、当該の内容に関して、特段の記載はありません。以上、御報告でございします。

【佐後会長】

ありがとうございました。

では、資料の差し替えと、事務連絡1点ございましたが、確認としてよろしいでしょうか。

それでは、外国語（英語）の調査結果について報告をお願いします。報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（英語専門調査員会代表者）】

では、外国語（英語）の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御意見と御質問を伺いたいと思います。

まず、御質問のある方、いらっしゃいましたら御発言をお願いいたします。

それでは御意見も含めて、御質問、御意見ございましたら、御発言をお願いします。

松本委員、お願いします。

【松本委員】

英語－２の⑤ですけど、不正な貿易とありますが、本文を見たら不公正な貿易ではないかと思うので、確認をお願いします。

【佐後会長】

これについては、確認をしていただくということで。

「不正な」か「不公正な」か、恐らく間違いかと思いますが、確認をよろしくをお願いします。

他にございますか。

開隆堂の英語－２の内容と構成の⑦番の文字が隠れていますので、これは整えてください。

【事務局（山田指導主事）】

体裁についてはこちらで確認をさせていただきます。

【佐後会長】

よろしくお願いします

他ございますか。以上でよろしいでしょうか。

それでは事務局をお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

先ほどの四角と同じように、枠の中に入っているかどうかの体裁については、こちらの方で全体を通して確認させていただきます。

こちらの方では１点お諮りをいたします。

英語－２の観点⑤番、不正な貿易、不公正な貿易については内容を確認の上、修正等対応させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【佐後会長】

修正の提案がございましたが、よろしいでしょうか。

それではそのようにお願いいたします。

それでは、外国語（英語）につきましては報告を終わりにします。どうもお疲れ様でした。

次が特別の教科 道徳でございます。事務局をお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

では教科書の入れ替えをさせていただきます。内容を御説明する種目としてはこちらが最後の種目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

4時から始めたいと思いますので、もう少々教科書等を見ていただければと思います。

【佐後会長】

それでは、特別の教科 道徳の調査結果について報告をお願いします。報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（道徳専門調査員会代表者）】

では、特別の教科 道徳の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいま調査員からの報告に対して、御意見、御質問を伺いたいと思います。

まずは質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは、御意見も併せて伺いたいと思いますので御質問、御意見がございましたら御発言よろしく願いいたします。

お願いします。

【藤井委員】

記載の仕方について教えていただきたいのですが、例えば 171 ページですが、④と⑰ですけれども、いずれも教科書の中にある教材名かと思われます。一方は二重カギカッコになっており、もう一方は学習活動としての隅付きカッコとなっており、表記の仕方について、全体を通してどのように分けているのか、つまり教科書の中では全部タイトルになっているものが、ある時は学習活動になり、ある時はコーナー等の記述という形になっているということについて、どのように分けているのかということを教えていただけたらと思います。

【佐後会長】

ありがとうございます。これは全体を通してという御質問でよろしいですか。そうしますと道徳科に限らずということですか。

【藤井委員】

いえ、道徳科で。

【佐後会長】

分かりました。では、この道徳に関して、どのように使い分けているかということで、何か御説明ございますか。

【事務局（石黒指導主事）】

実は、別のものという形になっていて、卒業文集最後の二行というものと、二通の手紙は別に

なっているのですが。

【藤井委員】

分かります。ここに、同列で表記されているけれども、一方がコーナー、一方が学習活動になっていて、普通で見ると、教材で全部同じなので。

【事務局（石黒指導主事）】

ありがとうございます。特別な教科 道徳は単元名がないというところで、教材名ですべて書かれているので、学習活動で話し合い活動というところが教材の中に入ってくるという形で捉えておりますので、話し合い活動だったり、議論するところがある場合については、学習活動としていて、例えば、いじめのところだったり、カリキュラム・マネジメントのところで出てくるものについては、教材名という形で二重カギカッコにしているというところですよ。

【佐後会長】

今の説明でよろしいでしょうか。

【藤井委員】

ありがとうございます。そうすると、もともとのこの記載の文脈に合わせて、判断をして記載をしているという理解でよろしいでしょうか。

【事務局（石黒指導主事）】

はい、その通りになります。

【藤井委員】

ありがとうございました。

【佐後会長】

他にございますでしょうか。

それでは以上でよろしいということでございますので、事務局お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

では、お話を伺う中では、調査員からの説明等で御了解をいただけたと判断し、修正はないという捉えでよろしいでしょうか。

【佐後会長】

修正なしでよろしいでしょうか。

では理解して、修正なしでお願いします。

それでは、特別の教科 道徳につきましては報告を終わりにします。どうもお疲れ様でした。

以上をもちまして、すべての教科・種目の報告及び審議が終了いたしました。総括的に何か御質問などがございますでしょうか。

お願いします。

【藤井委員】

どこで申し上げればいいのか分からないので、今、お話をさせていただきたいと思います。資料の方ですけれども、全体を通して、学習活動のところが非常に発見しづらいのではないかなという印象を持ちました。

記載がタイトルになっているようなものもあれば、その中の非常に小さいテーマになっているものもあったりですとか、本当に教科書の中から探すのが非常に困難であるようなものもあると感じました。

で、このような記載ができるのか分からないですけれども、せっかくお調べいただいて御説明いただく際には、どこが該当箇所かというのは、もちろん御存じの上でお話ししてくださっているかと思いますので、例えば何学年の、何ページの、ここですということが、ここで分かるような形で御記載いただけると確認もしやすいかなと思います。それは、例えば教科書の中の何ページから何ページと明示することができる場合の記載方法です。

学習活動として、例えばチャレンジ何々という、そのコーナーが全部それに該当するという場合はページ数などの記載はしないというふうにすれば、教科書全部にあるということが分かりますので、少しその該当ページだけの学習活動を指しているものと、教科書全体を通して、その学習活動が組織的に位置づいているものとの違いが分かるような形で記載をしていただくと、読みやすいといえますか確認しやすいなというふうに感じました。

【佐後会長】

ありがとうございました。全体を通して表記の問題について御指摘がありましたが、いかがですか。

【事務局（山田指導主事）】

ありがとうございます。各発行者によって、記載がまちまちになっていて、かなり分かりやすい表現で学年を通して記載をしているものもあれば、微妙に言葉を変えているけれどもというようなこともあったりします。

各観点の趣旨によって、これが一番ふさわしいであろうという専門調査員さんと、担当指導主事との共通理解を持って記載をしているという部分もございますので、御意見いただきつつ、今後の検討とさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

【佐後会長】

続けてお願いします。

【藤井委員】

続けて失礼いたします。それに関連して、目次にあるものというのは非常に分かりやすいというふうに思います。ですので、そのコーナー化されていたりですとか、全学年共通してある学習のテーマというかコーナー付けがあれば非常に分かりやすいのですが、本当にその1つの内容の中の小さいテーマというのは、目次から探すことが非常に困難で、大体その内容から推測して、該当ページを確認して、そして報告を聞くという形になっておりますので、該当ページが指し示

せるのであればこの場だけでも構わないかと思うのですが、その方が委員の皆さん方も非常に確認しやすく、正確なことができるのではないかなというふうに感じました。感想です。

【事務局（山田指導主事）】

ありがとうございます。

【藤井委員】

もう1点よろしいでしょうか。

【佐後会長】

お願いします。

【藤井委員】

もう1つ質問ですけれども、かながわ教育ビジョンの中で、それぞれの教科でピックアップしているものが異なっているかと思うのですが、それは教科の方にピックアップするのはお任せしているという理解でよろしいのでしょうか。

【事務局（山田指導主事）】

はい。基本的には教科特性、それから教科の専門調査員の中で話をしつつ、どれが一番この教科として、かながわ教育ビジョンの育成に資することとして考えられるかどうかということを検討の上でこちらを選んで表記をしているところです。

【藤井委員】

そうすると、情報化が多かったというのは、たまたま多かったという理解でよろしいわけですね。

【事務局（山田指導主事）】

そうですね。その情報化の中では、例えば情報化あるいは情報活用能力とそれぞれ棲み分けをして記載をしているところです。

【藤井委員】

分かりました。

【佐後会長】

よろしいですか。

【藤井委員】

大丈夫です。

【佐後会長】

ありがとうございます。

他に総括的な部分で何かございますか。よろしいでしょうか。

それでは、ただいま感想も含めた御意見ということで、今後に活かしていただければと思います。ありがとうございます。

それでは、本日皆様からいただいた御意見等について、事務局で再度検討していただき、適宜

修正等を反映していただくことを前提として、承認をいただきたいと思いますけれども、承認いただける方は拍手をお願いいたします。＜拍手多数＞

ありがとうございました。拍手多数と認め、全員ですかね。拍手全員で本件は承認されました。御承認いただきありがとうございました。

本日御承認いただいた諮問事項の(7)に関しましては、後日、会長の私から答申を作成して、教育委員会へ提出したいと考えておりますが、それでよろしいでしょうか。＜賛同多数＞

ありがとうございます。では、御了承いただきましたので、そのようにしたいと思います。

その他としまして、皆様から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

お願いします。

【藤井委員】

立て続けにすみません。もう1点、確認させていただきたいのですが、内容と構成ですとか、この資料Ⅰの作成にあたって、それぞれの学習活動ですとか、コーナーですとかそのピックアップするものが重なっているところもあったかと思いますが、それについては、どのように考えればいいのかというところの見解を伺えたらと思います。

【事務局（山田指導主事）】

なるべく教科書の様々な箇所から、それぞれの観点に資するところについて検討しているところですが、どうしても発行者の数が少ない、あるいは教科書が1冊で3学年をまたがっているところについては、どうしても範囲が狭いということがございますので、その場合には、同じ教材が入ってしまっているということもあり得ます。

【佐後会長】

よろしいですか。

【藤井委員】

はい。

【佐後会長】

ありがとうございました。

それでは諮問に関しまして、御承認をいただきました。

本日は、本当に皆様の熱心な御議論いただきましたことを感謝申し上げます。また、進行に関しましては御協力いただきましたことを併せて感謝申し上げます、私の役目を終了とさせていただきます。本当に本日はありがとうございました。

それでは、進行を司会に返します。

【司会（酒井指導主事）】

佐後会長ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、熱心な御審議、本当にありがとうございました。

以上で、本日の議事については終了いたしました。

それでは、事務局より事務連絡をいたします。

【事務局（山田指導主事）】

本日は1日にわたり御審議どうもありがとうございました。

私からは2点お願いいたします。1点目は、本日の議事についてです。本県では、静謐な採択環境の確保のため、教科書の採択期間が終了する8月31日までは、本日の議事及び専門調査員の氏名等の公開は控えております。従いまして、皆様方にも御理解、御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

2点目は、次回の選定審議会の御連絡です。第3回の審議会は、7月17日（水）14時から、場所は、県立総合教育センター2階205研修室、このお部屋になります。

議題としましては、諮問事項の(8)「令和7年度県立特別支援学校の小学部及び中学部、並びに県立中等教育学校前期課程において使用する教科用図書の採択について」です。

期日近くなりましたら御案内いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。私からは以上です。

【司会（酒井指導主事）】

では、最後に、子ども教育支援課長 長田から、閉会の御挨拶を申し上げます。

【長田子ども教育支援課長】

皆様、1日、ありがとうございました。

まずは、資料の差し替え等がございまして、皆様に多大な御迷惑をおかけしましたことを、子ども教育支援課長として、お詫び申し上げます。本当に申し訳ございませんでした。

そうした中にもかかわらず、本日、慎重かつ丁寧な御審議をいただきまして、誠にありがとうございました。

県教育委員会には、県内の義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択の適正な実施を図るために、適切な指導、助言又は援助を行うことが義務づけられております。

そのための重要な役割を担っていただくのが本審議会でございますが、今回は、諮問事項(7)「令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書選定に係る調査研究資料について」このことにつきまして御審議をいただきました。

この調査研究資料につきましては、事務局より御説明いたしました通り、来週6月11日（火）に行われます、神奈川県教育委員会6月定例会へ付議いたします。

本日いただきました貴重な御意見を基に、事務局で検討をさせていただきたいと考えています。ただすべての種目にかかる部分につきましては、今回、反映できるかも含めて、また事務局で検討させていただきたいと考えております。

併せて、付議にあたりまして、万全を期すために、この後、再度、事務局で確実なチェックを行わせていただきます。

その際、万が一でございますが、新たに修正箇所等が出た場合につきましては、その修正の程度が非常に軽微な場合につきましては、大変恐縮でございますが、事務局に御一任いただけますようお願いいたします。

ただ、大幅な修正等が万が一ありました場合につきましては、各委員の皆様に御連絡をさせていただきますので、その点、御承知おきください。

次回、7月17日（水）の第3回選定審議会におきましては、先ほどもございました諮問事項の（8）「令和7年度県立特別支援学校の小学部及び中学部、並びに県立中等教育学校の前期課程において使用する教科用図書の採択について」御審議いただくこととなります。

次回で今年度最後の選定審議会の予定となりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日は長時間にわたりまして本当にありがとうございました。

**【事務局（酒井指導主事）】**

以上で閉会といたします。

皆様、お忘れ物のないように気をつけてお帰りください。本日はお疲れ様でした。（終了）